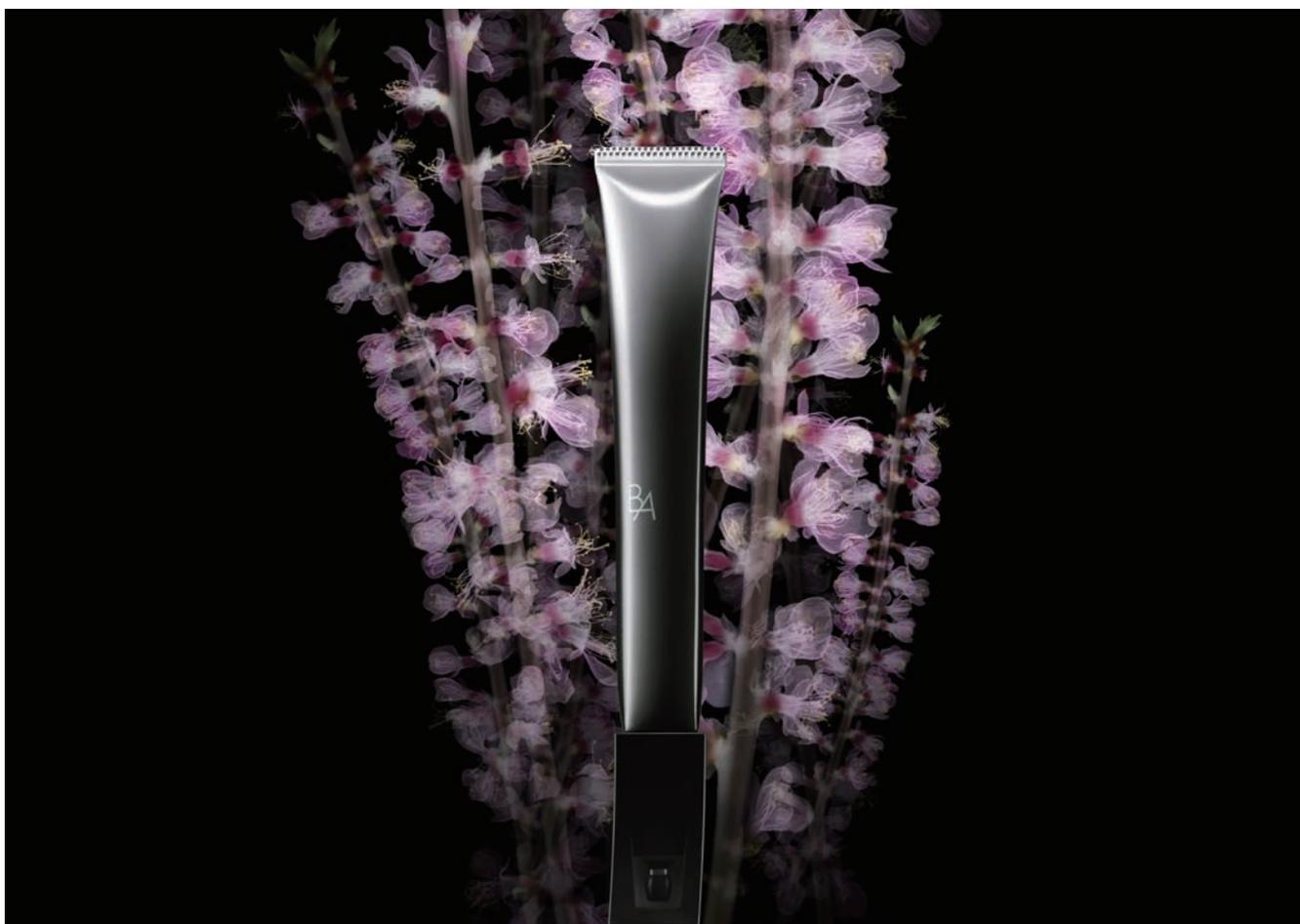


第17期株主通信

秋号 (2022年1月1日~6月30日)



社長メッセージ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第17期第2四半期(2022年1月1日~6月30日)の国内化粧品市場は、コロナ禍以降、外出機会の減少により低水準で推移していたメイク品の需要が回復しており、また、対面型サービスも人出の回復とともに堅調に推移しております。一方で、当社が重点市場に位置付けている中国市場では、ロックダウンの長期化に伴う店舗の営業制限や物流への影響が発生し、徐々に経済正常化が進みつつありますが、依然として新型コロナウイルス感染症(COVID-19)再拡大の脅威は払拭されておりません。

このような市場環境のもと、2021年からスタートした中期経営計画に基づき短中期の課題解決にスピード感をもって取り組んでおりますが、ポーラが大きく減収となるなど足元の状況は厳しく、グループの通期の計画を下方修正いたしました。第3四半期以降もコロナ禍や国際情勢による先行き不透明な事業環境が続きますが、まずは通期の修正計画達成に向け、グループ社員一同、さらなる努力をまいります。また同時に、長期経営計画・VISION 2029に掲げた事業ポートフォリオ拡張に向けても、引き続き検討を進めてまいります。株



主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利益還元につきましては、当期の中間配当は1株につき21円とさせていただきます。

ポーラ・オルビスホールディングスの第17期第2四半期の株主通信(秋号)をご高覧いただけますと幸いです。

代表取締役社長 鈴木 郷史

経営計画

■ 長期経営計画・2029年に向けたロードマップ

VISION 2029

多様化する「美」の価値観に応える個性的な事業の集合体

- 基本戦略 1 化粧品事業のグローバル展開とブランドポートフォリオの改革と拡充
- 基本戦略 2 新価値を創出し、事業の領域を拡張
- 基本戦略 3 研究・技術戦略の強化

STAGE 1 2021-2023年

既存事業の基盤構築、
高収益ポートフォリオへ再構築

- 国内事業は利益、
ライフタイムバリュー^{*1}重視
- グローバル展開の加速
- 新規事業への種まき・CVC^{*2}投資
- 不採算事業の整理

STAGE 2 2024-2026年

成長事業へ投資し成長加速

- グローバル展開の飛躍
- 新規事業の成長
- M&A、CVC投資
- 新素材上市・パイプライン拡大
- 新剤型技術確立

STAGE 3 2027-2029年

多様化する「美」の価値観に応える
個性的な事業の集合体

- Well-being・社会領域での
存在感を明確にする

^{※1} 顧客生涯価値

^{※2} コーポレートベンチャーキャピタル

2029年指標

連結営業利益額	500億円	海外売上高比率	30～35%
連結営業利益率	15%以上	ROE	14%以上
連結売上高	3,000億円		

業績について

■ 財務ハイライト



■ 2022年12月期の見通し

上期は売上高・営業利益ともに前年同期を下回りました。下期、急速な回復が見込みづらい状況を反映し、通期計画を下方修正しましたが、粗利益の減少に対して費用コントロールすることで、上期よりも利益率を改善させ、修正計画達成を目指します。

(2022年7月29日時点)	
売上高	1,700億円(前期比 97.2%)
営業利益	117億円(前期比 75.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	140億円(前期比 129.3%)
年間配当金	52円(見通し)

詳細は当社ウェブサイトでご確認いただけます。

[第2四半期決算短信はこちら](#)



[第2四半期決算説明会資料、決算説明会動画配信はこちら](#)



※2022年12月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

※本資料記載の2021年12月期の実績は、2022年12月期と同基準で算出した実績を比較のための参考情報として記載しています。(非監査情報)

■ 事業別・ブランド別業績

2022年12月期第2四半期の連結業績をご報告いたします。

ビューティケア事業

ポーラの減収と粗利益の減少による減益が大きく影響。売上高・営業利益ともに前年同期を下回るものの、第1四半期と比較すると減収幅は縮小。

売上高

76,420百万円

(前年同期比 90.2%)

営業利益

5,246百万円

(前年同期比 62.2%)

POLA

主力である委託販売チャネルでは、新規顧客の獲得数が前年を下回る状況が継続し減収する一方、その他のチャネルは増収基調。海外は、中国ロックダウンの影響を受け、計画的な韓国免税への出荷抑制の影響を除いても13.4%の減収。下期、委託販売ではSNSを有効活用し、オンラインでの顧客接点の拡大スピードを加速させる。また、好調な「B.A」から新商品を投入し、新規顧客の獲得、既存顧客の活性化を図る。



売上高

45,056百万円

(前年同期比 84.9%)

営業利益

4,897百万円

(前年同期比 59.9%)

ORBIS

戦略的にプロモーションを抑制したため顧客数の減少が継続し、減収。また、8月の「オルビスユー」のリニューアルに向け一時的に広告量を抑えたことに加え、EC市場の競争激化により広告単価が上昇しており、新規顧客獲得に苦戦。下期は、「オルビスユー」の大規模なプロモーションを展開し、新規顧客の獲得、既存顧客の活性化を図る。



売上高

19,060百万円

(前年同期比 96.2%)

営業利益

2,482百万円

(前年同期比 86.5%)

Jurlique

売上高

3,655百万円

(前年同期比
105.2%)

営業利益

△886百万円

(前年同期より
56百万円改善)

中国ではロックダウンによる影響を受けつつも、重点チャネルであるECでオフラインの苦戦をカバーし増収。効率的な費用執行により損失改善。

H2O+

売上高

728百万円

(前年同期比
176.0%)

営業利益

△206百万円

(前年同期より
143百万円改善)

会社清算に向けて計画どおり進捗しており、6月末で自社EC事業を終了。

※2022年4月28日付でH2O PLUSが展開する全事業からの撤退を決定

育成ブランド

THREE

Amplitude

ITRIM

FIVEISM
x
THREE

DECENCIA

FUJIMI

売上高

7,919百万円

(前年同期比
100.0%)

営業利益

△1,041百万円

(前年同期より
269百万円改善)

THREEは自社EC稼働再開後、一時的にオンラインプロモーションを抑制した影響により減収。

DECENCIAは下期の主力商品リニューアルに向けて戦略的に投資を抑えたことにより減収。

※FUJIMIブランドを展開するトリコ株式会社は2021年4月より連結対象

不動産事業

一部テナントの退去の発生により減収。
一方、前年度に賃貸ビルの保全にかかる一時的な費用を計上したことにより営業利益は前年同期を上回る。

売上高

1,039百万円

(前年同期比 98.7%)

営業利益

316百万円

(前年同期比 169.4%)

その他

ビルメンテナンスおよび工事受注件数が増加したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回る。

売上高

1,287百万円

(前年同期比 109.7%)

営業利益

71百万円

(前年同期比 260.7%)



3/月 **FUJIMI**

昨年4月にグループ入りしたFUJIMIが、ルミネ新宿店ルミネ2に初の直営店舗をオープン。実際に商品を手に取り、ブランドの世界観やパーソナライズ体験を楽しんでいただける空間です。

8/月 **ORBIS**

ブランドを象徴する
初期エイジングケア*シリーズ
「オルビスユー」が4年ぶりに全面刷新。
満ちたりた
自信が、つづく水
肌に眠るうるおいを呼び覚ます
どんな時も、ゆらがない

※年齢に応じたお手入れのこと



4/月 **POLA**

毛穴が目立たない、
透明感あふれるようなハリ肌へ
「B.A ローション イマース」誕生

7/月 **POLA**

なめらかで、澄んだ透明感*1ある肌*2を目指す
新「ホワイトショット クリーム RXS」誕生

※1 うるおいによる

※2 角層





8/9月 **THREE**

音を視よ、色を聴け。
音楽をテーマにした
秋のメイクコレクション発売



9/月 **Jurlique**

つるとなめらか、新感覚※¹肌へ
濃厚ローズエキス※²配合の「フェイスオイル」誕生

※¹ ジュリークにおいて

※² ハイブリッドローズ花エキス(整肌成分)



10/月 **POLA**



目もとに、底力を。
目覚めるようなハリと透明感、
表情までも豊かな※、
生命感あふれるような目もとを目指す
新「B.A アイゾーンクリーム」誕生

※うるおいによる角層の柔軟性のこと

10/月 **DECENCIA**

「角層クリーム」という新しい選択肢。
肌のお手本※をつくる「DECENCIA」シリーズ誕生

※美しくすこやかな肌へ導く疑似角層のこと



インフォメーション

■ 株主優待

今年の株主優待の受付は終了いたしました。次回の株主優待は2023年3月の開始を予定しております。対象株主さまには、お申込み開始時期が近づきましたら、ご案内をお送りします。

スマートフォンやパソコン等から商品をお選びいただく際、4つのジャンルから商品検索ができ、大変便利になりました。

詳細は当社ウェブサイトでご確認いただけます。

株主優待制度についてはこちら



■ 文化活動

9月16日(金)~10月23日(日)

八木マリヨ・八木夕菜「地殻を辿る」

金沢21世紀美術館チーフ・キュレーターの黒澤浩美氏をゲストキュレーターに迎えた、環境芸術家の八木マリヨと現代アーティストの八木夕菜による二人展。2人の作品の相乗によって大いなるエネルギーの生まれるコスモロジーの空間を都市の中に創出する展覧会です。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階

開館時間 11:00~19:00 (最終入場は18:30まで)

入場無料
会期中無休

状況により変更となる場合がございます。ウェブサイトで最新情報をご確認の上、ご来館いただけますようお願い申し上げます。



※お申込み画面のデザインは今後変更となる可能性があります。



八木マリヨ
「鉄の惑星—東経110度 北緯50度地点2022年」2022年
鉄鋼一般構造用圧延鋼材
SS400 41 x 120 x 235cm

八木マリヨ
「鉄の惑星—東経110度 北緯50度地点2000万年後」2022年
鉄鋼一般構造用圧延鋼材
SS400 65 x 100 x 85cm



八木夕菜
「種覚ゆ」2022年 種子、土、水、光 / インスタレーション
W1350 x D1800mm
©Takeshi
Asano-KYOTOGRAPHIE
2021

ポーラ ミュージアム アネックスウェブサイトはこちら



■株式の状況 (2022年6月30日現在)

発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 229,136,156株
株主数 62,812名

大株主(上位10位)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人ポーラ美術振興財団	78,616	35.50
鈴木 郷史	50,625	22.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,517	5.65
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	6,159	2.78
中村 直子	4,770	2.15
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,063	1.83
鈴木 宏美	3,113	1.41
SMBC日興証券株式会社	2,619	1.18
ポーラ・オルビスグループ従業員持株会	1,506	0.68
THE BANK OF NEW YORK 133612	1,417	0.64

(注) 1. 所有株式数は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 上記のほか当社所有の自己株式7,662千株があります。なお、自己株式には役員報酬BIP信託口が保有する当社株式243千株を含んでおりません。

3. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数で算出しております。

■株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年3月

定時株主総会の議決権の基準日：12月31日（その他必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日）

期末配当の基準日：12月31日

中間配当の基準日：6月30日

1単元の株式数：100株

証券コード：4927

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■会社概要 (2022年6月30日現在)

商号 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
POLA ORBIS HOLDINGS INC.

設立 2006年9月29日

資本金 100億円

従業員数 (連結)4,171名 (単体)210名

*従業員数は就業人員数(派遣出向者を除き、受入出向者を含む)

事業内容 グループ全体の経営管理

本店所在地 〒141-0031

東京都品川区西五反田二丁目2番3号

(実際の業務は東京都中央区銀座一丁目7番7号で行っております)

役員一覧

代表取締役社長	鈴木 郷史	社外取締役	小宮 一慶
常務取締役	久米 直喜	社外取締役	牛尾 奈緒美
取締役	横手 喜一	社外取締役	山本 晶
取締役	小林 琢磨	監査役	河本 秀樹
取締役	小川 浩二	社外監査役	佐藤 明夫
		社外監査役	中村 元彦

公告の方法：電子公告によって行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

公告掲載アドレス：<https://www.po-holdings.co.jp/>

上場証券取引所：東京証券取引所 プライム市場

■ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

未払い配当金のお支払いや株式事務に関する一般的なお問い合わせは、下記の当社株主名簿管理人にお申し出ください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711(通話料無料)

ウェブ動画コンテンツのご案内

当社グループへのご理解を一層深めていただけるよう、動画コンテンツをご用意いたしました。
ぜひこの機会にご視聴くださいますようお願い申し上げます。

サステナビリティへの 取り組み

当社グループのサステナビリティ活動のうち「環境」にフォーカスし、直近の取り組みをご紹介します。



当社 執行役員
橋 直孝

新規事業開発の取り組み

当社の事業ポートフォリオ拡張の考え方や、社内ベンチャープログラムについてご説明します。



当社 事業開発室長
角田 憲昭

新オルビスユー誕生

ブランド創業35周年を迎える本年、リニューアルしたオルビスユーの進化や開発に込めた思いをお伝えします。



オルビス株式会社
執行役員
西野 英美

ご視聴方法

右側の「ご視聴はこちら」からアクセスしてください。

ご視聴はこちら



ご視聴開始日

2022年9月5日(月)

※一定期間を過ぎるとご視聴できなくなることもありますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

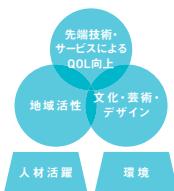
注意事項 ●ご視聴にあたっては、通信環境を十分ご確認ください。

- ご視聴によって発生する費用(インターネット接続料金等)は、ご視聴される方のご負担となります。
- 動画ご視聴時の写真撮影、録音、録画及びSNSでの発信・無断転載等は、固くお断りさせていただきます。
- 万一、本配信について不測の事態が発生した場合は、当社ウェブサイトにてお知らせいたします。



社長メッセージや中長期戦略を詳しく掲載したコーポレートレポート2021を発行しました。

コーポレートレポートはこちら



当社グループのサステナビリティへの取り組みを詳しくご紹介しています。

サステナビリティの詳細はこちら



IRニュースメール配信にご登録いただくと、当社のニュースリリース、IR関連資料等の最新情報を、いち早く電子メールにてお知らせいたします。ぜひお気軽にご登録ください。

ご登録はこちらから

